

# 香美市まち・ひと・しごと 創生総合戦略



次期総合戦略の策定に向けて

## 人口に係る一定の成果

### 人口が増加している市区町村

【2020年の総人口が2015年よりも増加している市区町村】

- ・全都道府県 → 317団体
- ・一都三県を除く道府県 → 219団体

### 推計より人口が増加している市区町村

【2013年時の2020年人口推計よりも2020年人口実績が増加している市区町村】

- ・全都道府県 → 736団体
- ・一都三県を除く道府県 → 610団体



香美市

### 社会増となっている市区町村

【10年連続で社会増（2014年～2023年）】

- ・全都道府県 → 122団体
- ・一都三県を除く道府県 → 47団体

### 社会増となっている市区町村

【10年間トータルで社会増（2014年～2023年）】

- ・全都道府県 → 387団体
- ・一都三県を除く道府県 → 261団体



香美市

〔備考〕総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2013年推計、2023年推計）、総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人移動者）により作成。一都三県とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県。「推計より人口が増加している市区町村」について、福島県の市町村（59団体）は、2013年当時の推計値がないため、集計に含まれない。

## ◇消滅可能性自治体とは

2020年から2050年までの**30年間で「20~39歳の女性人口」が50%以上減少する**自治体と定義している。

※人口戦略会議にて令和5年12月に公表された「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）に基づき、人口から見た全国の地方自治体の「持続可能性」について分析を行っており、今回該当した自治体は744自治体となっている。また、自然減・社会減対策の観点から9つの分類を行っている。

### 自治体の人口特性別9分類（自然減対策と社会減対策）

- A 自立持続可能性自治体: 65
- B ブラックホール型自治体: 25 (B-①:18、B-②:7)
- C 消滅可能性自治体: 744 (C-①:178、C-②:545、C-③:23)
- D その他の自治体: 895 (D-①:121、D-②:260、D-③:514)

封鎖人口	減少率20%未満	減少率20~50%未満	減少率50%以上
移動仮定			
減少率20%未満	A 自立持続可能性	D-① 自然減対策が必要	B-① 自然減対策が極めて必要
減少率20~50%未満	D-② 社会減対策が必要	D-③ 自然減対策が必要 社会減対策が必要	B-② 自然減対策が極めて必要 社会減対策が必要
減少率50%以上	C-① 社会減対策が極めて必要	C-② 自然減対策が必要 社会減対策が極めて必要	C-③ 自然減対策が極めて必要 社会減対策が極めて必要

(注)縦軸および横軸の「減少率」は、若年女性人口(20~39歳)の減少率

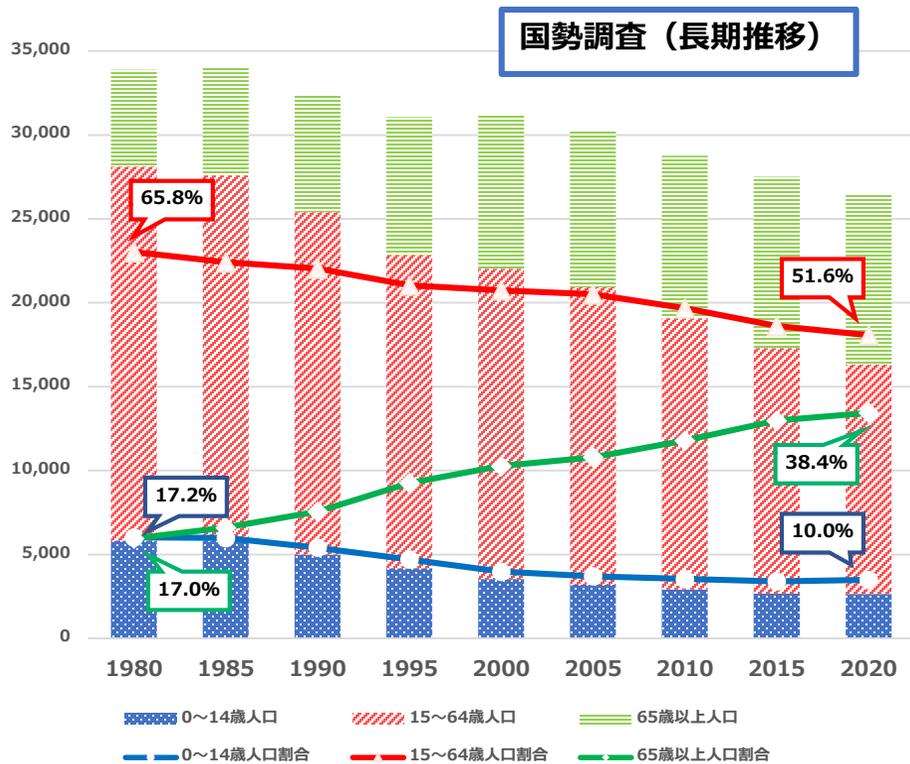
### ○香美市の分析結果

- ・ 9分類：D-③
- ・ 前回比較：若年女性人口減少率が**13.2%改善**
- ・ 2050年人口（移動想定）  
若年女性人口減少率 35.3%  
若年女性人口：1,333人 総人口：17,253人
- ・ 2050年人口（封鎖人口）  
若年女性人口減少率 30.0%  
若年女性人口：1,443人 総人口：17,865人
- ・ 2020年人口（実績）  
若年女性人口：2,061人 総人口：26,513人

**消滅可能性都市ではないが、  
社会減、自然減ともに対策が必要！**

# 1 香美市の人口動態 (人口推移・構造)

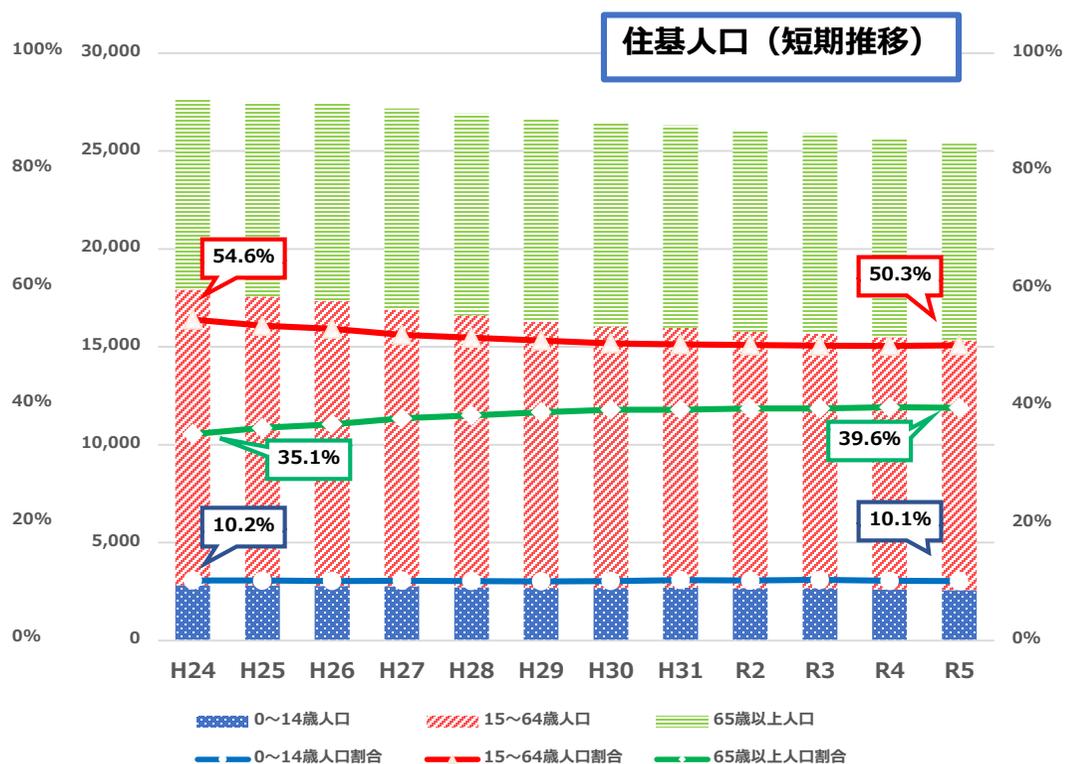
## ○香美市の人口及び年齢3区分別人口の推移



年度	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
総数	33,878	34,016	32,401	31,076	31,175	30,257	28,766	27,513	26,513
0~14歳	5,831	5,814	5,003	4,176	3,547	3,199	2,912	2,673	2,642
15~64歳	22,285	21,784	20,396	18,674	18,476	17,726	16,165	14,635	13,686
65歳以上	5,762	6,418	7,002	8,226	9,151	9,331	9,689	10,205	10,185

(出典 国勢調査) 各年10月1日現在

1980年以降、多少の増減はあるものの徐々に減少を続けている。  
また、1980年には同水準だった高齢者人口と年少人口は差を広げながら推移し、2020年の高齢者人口の割合は全国平均28.8%を上回る38.4%まで上昇している。



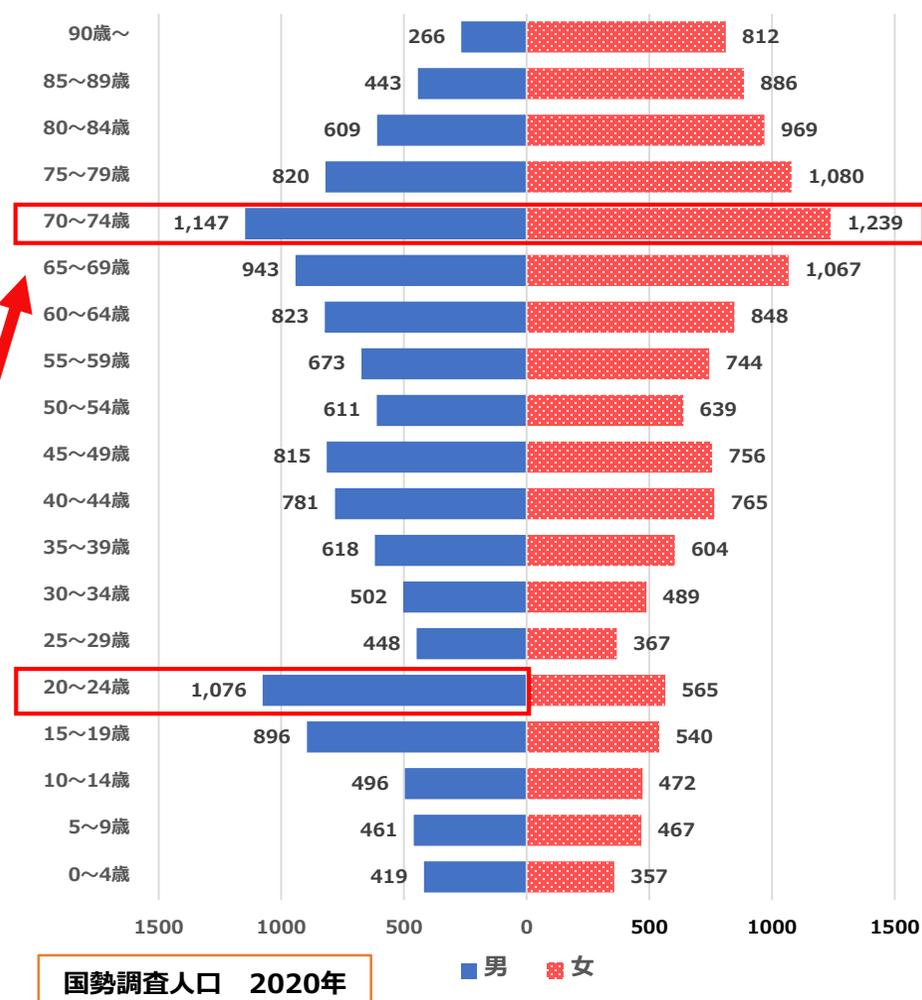
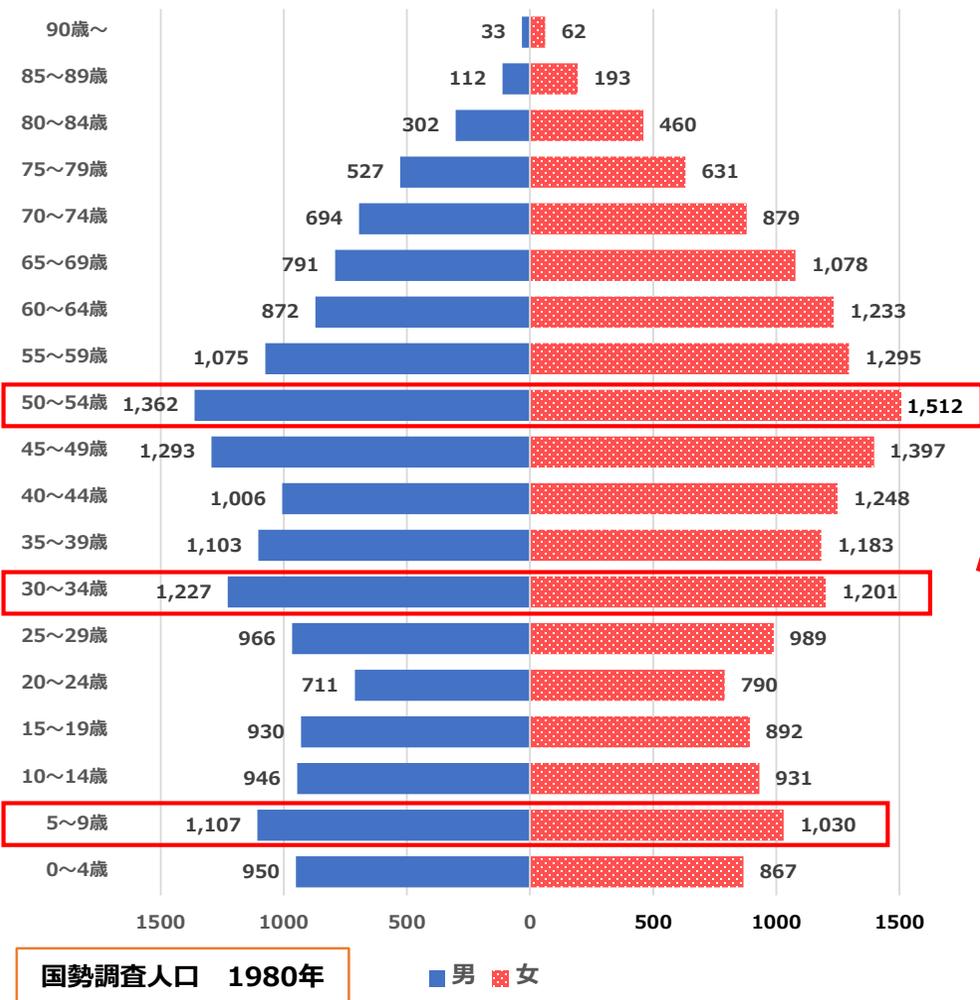
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
総数	27,635	27,519	27,436	27,171	26,914	26,641	26,407	26,319	26,088	25,911	25,676	25,381
0~14歳	2,827	2,811	2,778	2,761	2,722	2,684	2,676	2,707	2,663	2,669	2,607	2,568
15~64歳	15,100	14,747	14,559	14,135	13,879	13,605	13,358	13,271	13,122	13,005	12,875	12,760
65歳以上	9,708	9,961	10,099	10,275	10,313	10,352	10,373	10,341	10,303	10,237	10,194	10,053

(出典 住民基本台帳) H24、H25は3月31日、H26からは1月1日数値

H24と比較をすると、人口は約2,300人程度減少している。  
年齢区分別にみると、人口は年少人口・高齢者人口はほぼ横ばいだが、生産年齢人口が減少している。また、割合でみると、生産年齢人口の割合が減少し、高齢者人口の割合が増加している。

# 1 香美市の人口動態（人口推移・構造）

○性別別年齢別人口構成の推移（1980年と2020年の比較）

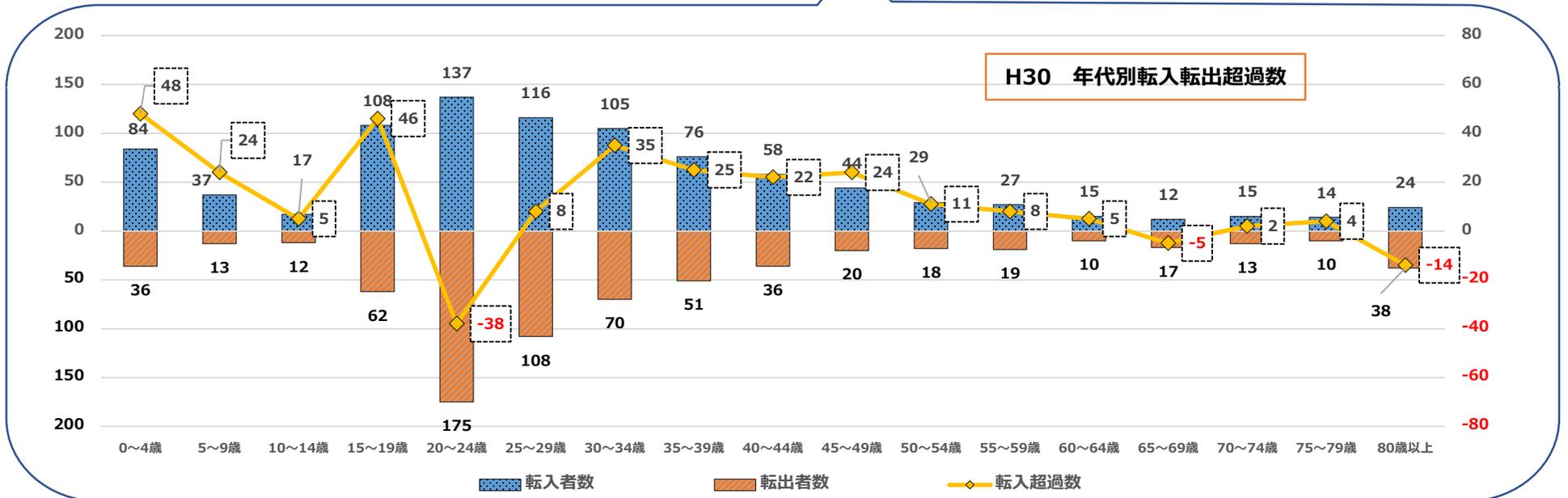
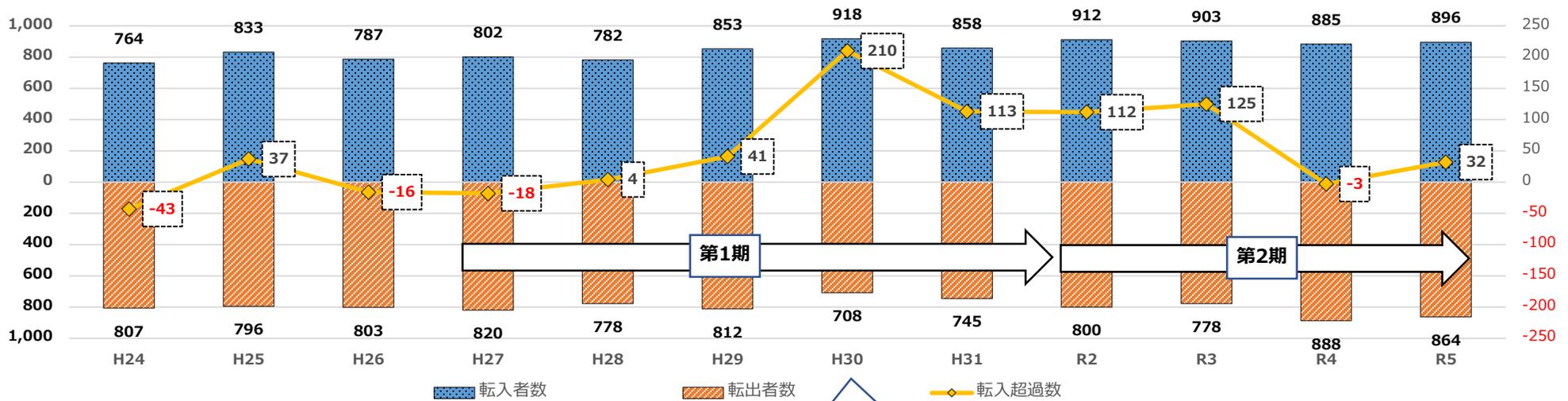


1980年にはいわゆる団塊の世代が30歳代前半で、その子世代5～9歳、親世代50～54歳を中心に人口が多くなっている。  
 2020年には団塊の世代が70～74歳となり、世代のなかで最も多くなっている。また、20～24歳の男性人口が多く、25～29歳の人口が少なくなっているのは、高知工科大学生の影響が大きい。  
 全体的に少子高齢化の傾向にあり、今後どのようにバランスのとれた人口構成を目指すかが重要となっている。

## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

○転入者数、転出者数の推移

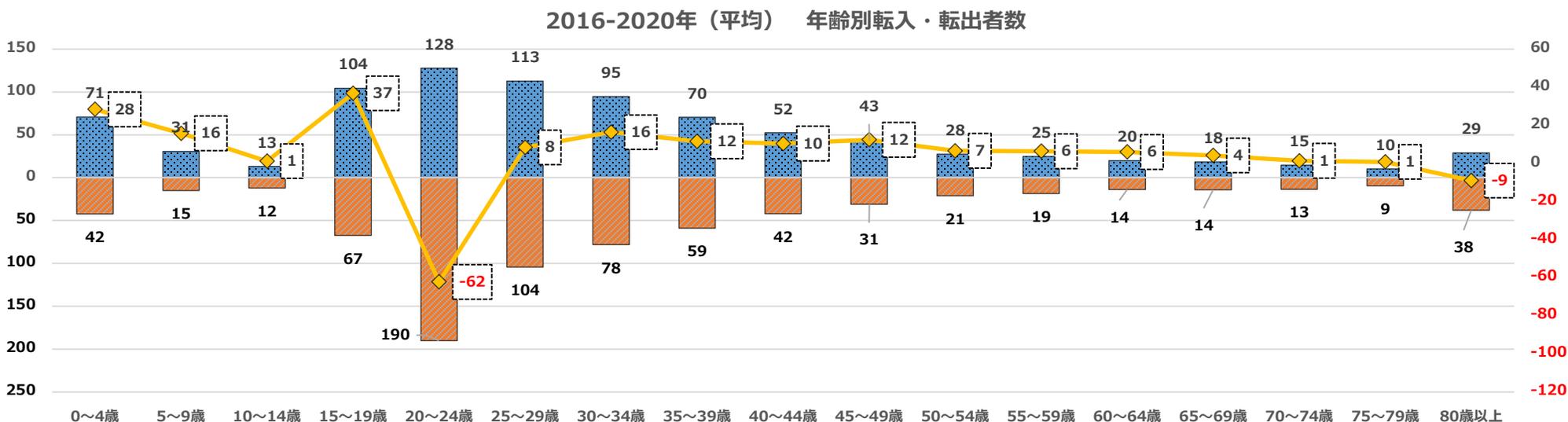
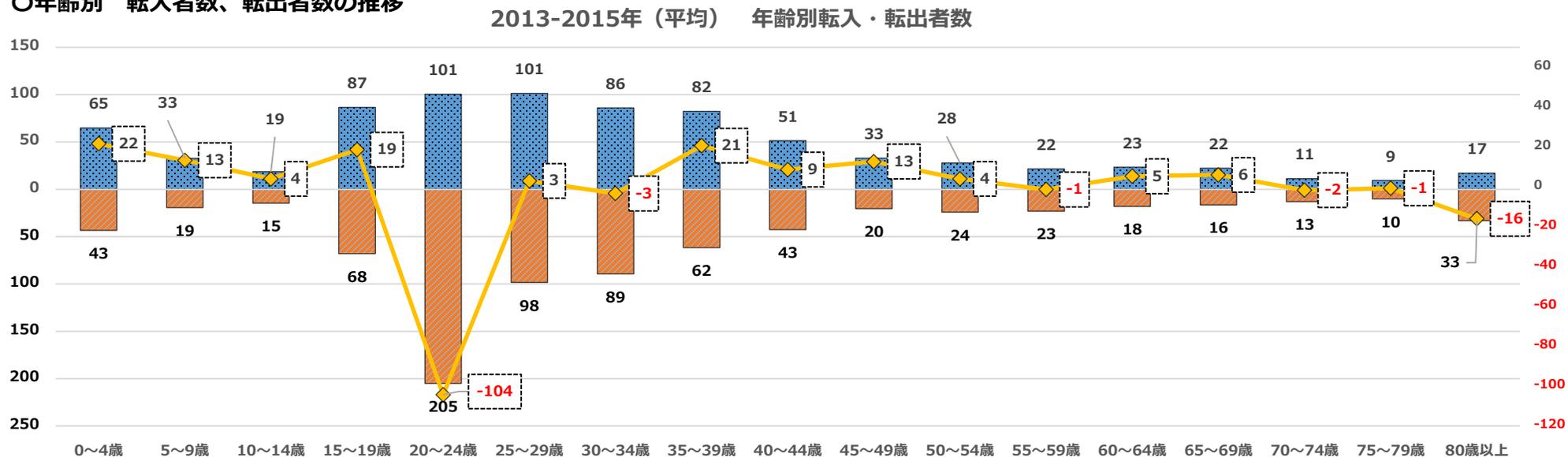
(出典 住民基本台帳人口移動報告)



本市の社会動態については、直近10年間では社会増となっている。また、H30~R3には転入超過数が3桁となっている。特に、H30は近年では最高の転入超過数であり、年代別でみると0~4歳及び30~44歳の年代が多いことから子育て世帯の転入が多いと思われる。

## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

○年齢別 転入者数、転出者数の推移

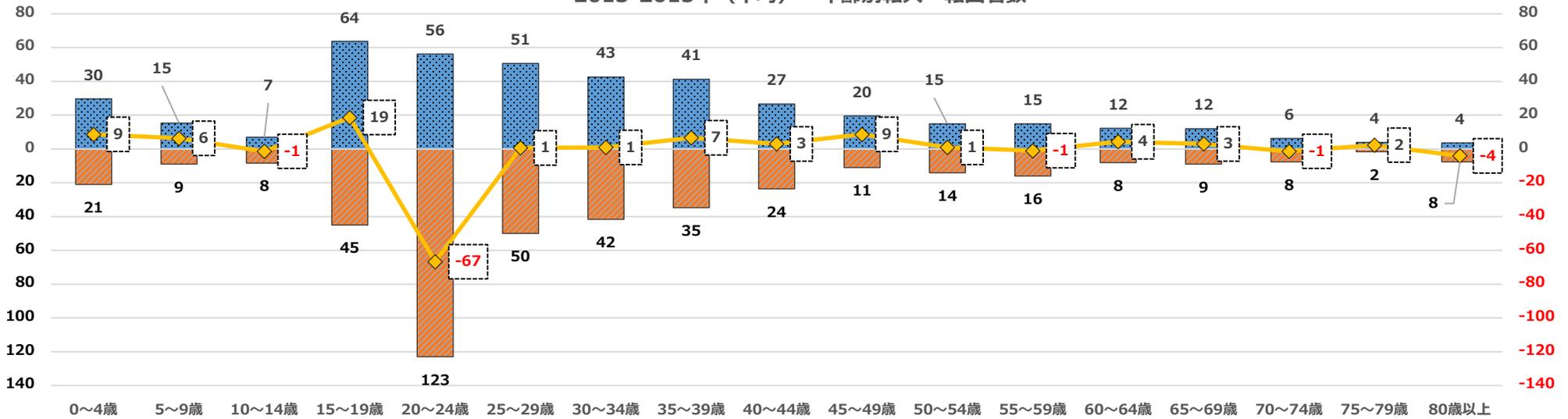


年代別でみると20~24歳で転出超過が多くみられており、高知工科大学生の影響があると考えられる。  
2013-2015年平均と、直近5年間の平均を比べると、幅広い世代で転入超過への動きがみられる。

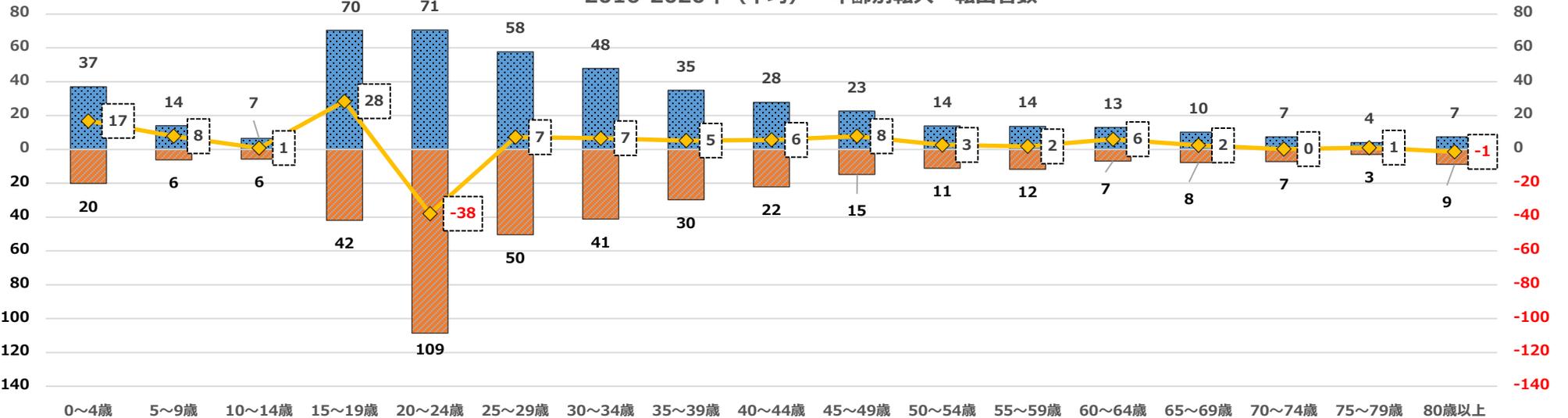
## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

○年齢別 男性 転入者数、転出者数の推移

2013-2015年(平均) 年齢別転入・転出者数



2016-2020年(平均) 年齢別転入・転出者数

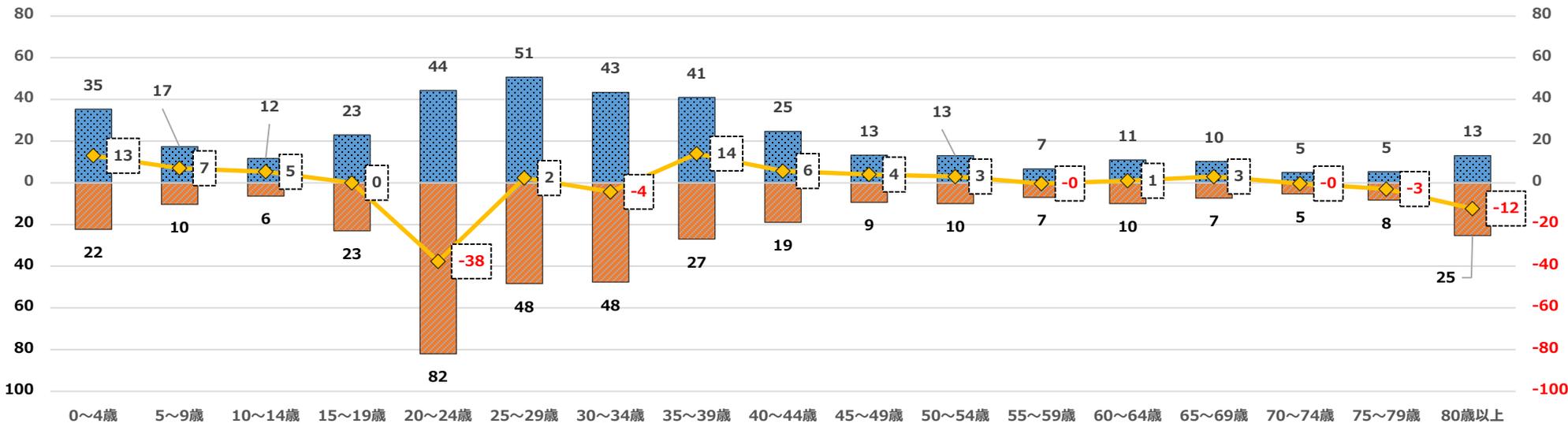


全体の傾向と差異は少ない。15~19歳の転入者数が多い。

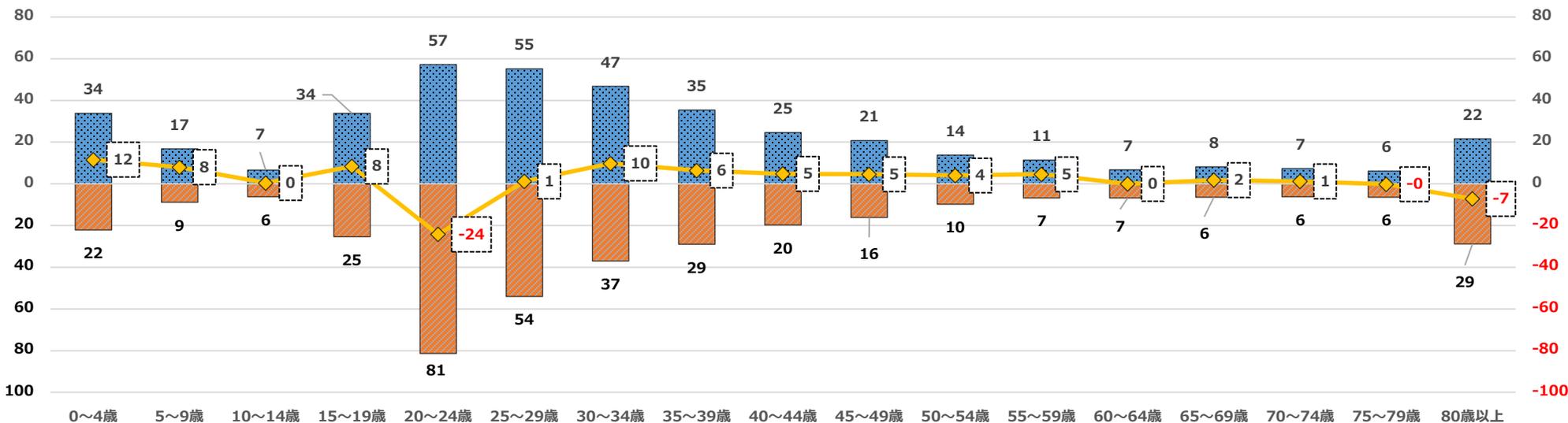
## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

○年齢別 女性 転入者数、転出者数の推移

2013-2015年(平均) 年齢別転入・転出者数



2016-2020年(平均) 年齢別転入・転出者数

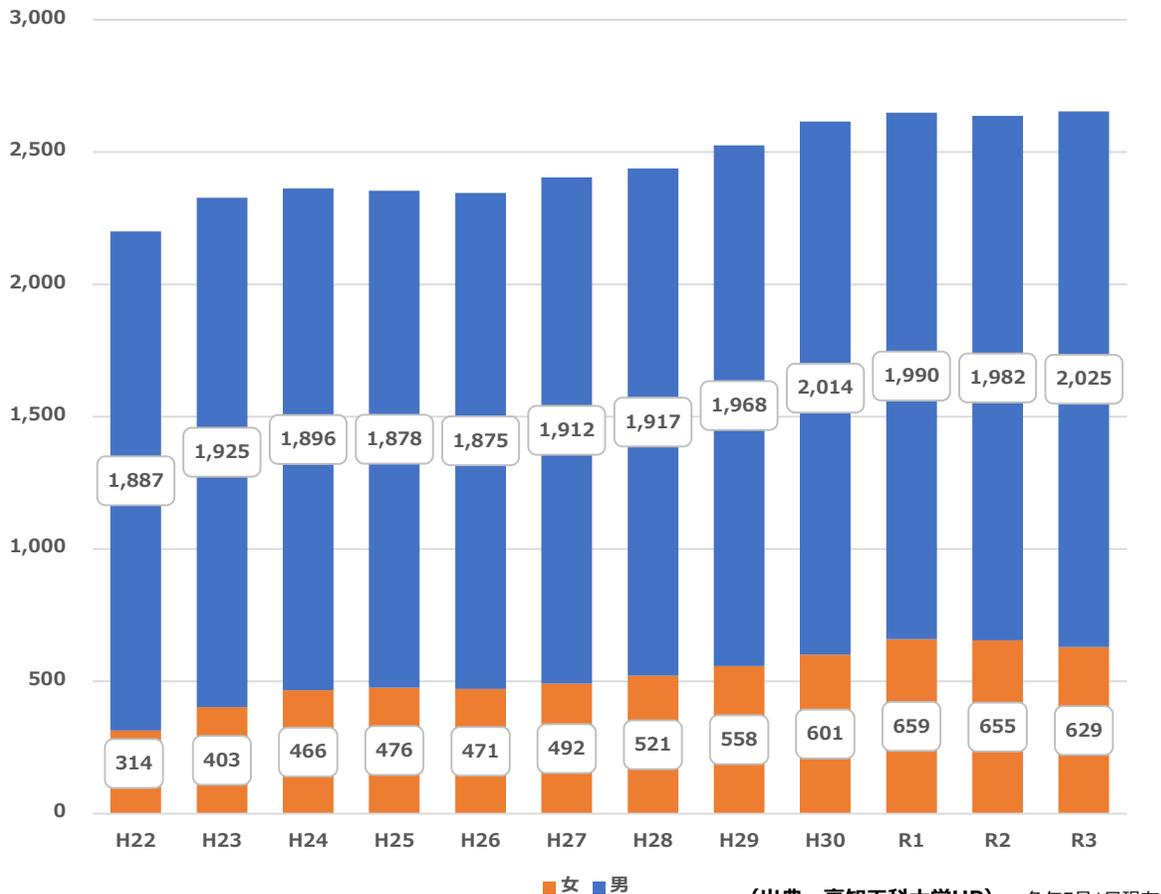


全体の傾向と差異は少ない。15~19歳の転入転出数が少ないが20~24歳の転入転出が多くみられる。

## 2 香美市の人口動態（社会動態）

### ○高知工科大学の生徒数の推移、外国人 人口の推移

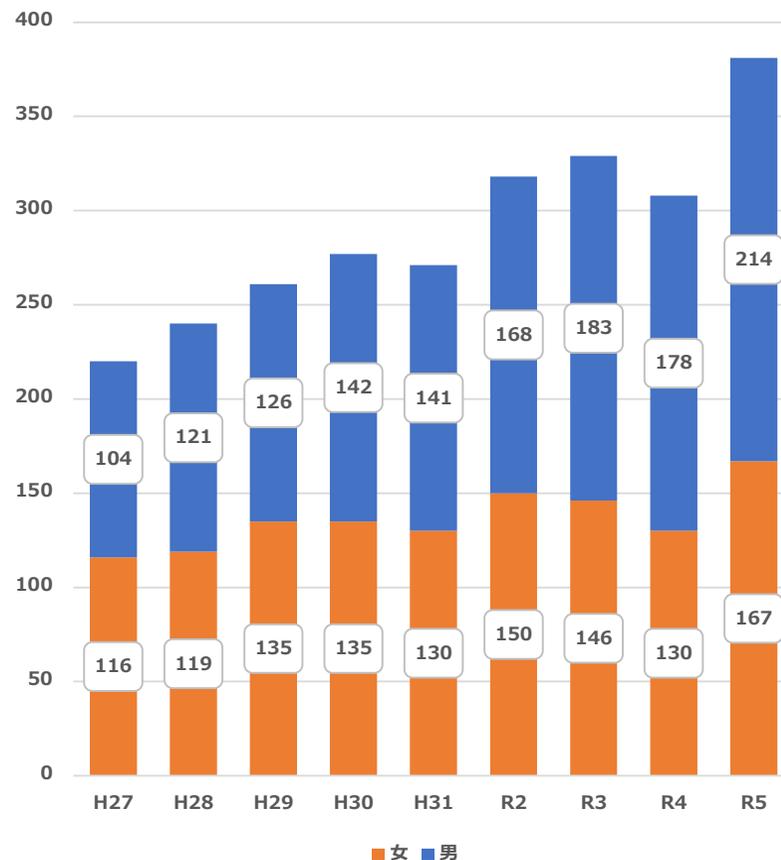
男女別 工科大学生数の推移



H22とR3を比較すると学生数は約450人増加しており、男女別にみると、どちらも増加しており、特に女性の学生数は約2倍となっている。

高知工科大学生数は、香美市の人口の約1割を占めており、学生の移動が市の人口動態に大きく影響している。

外国人 男女別人口



(出典 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査) 各年1月1日現在

H27とR5を比較すると、外国人人口は約2倍となっており、男女ともに増加傾向にある。

このことから、香美市の社会動態には外国人の転入出も少なからず影響していると考えられる。

## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

### ○地域ブロック別移動数

	H25			H30			R5		
	転入	転出	超過数	転入	転出	超過数	転入	転出	超過数
全体	833	796	37	920	708	212	896	864	32
北海道	4	2	2	2	2	0	4	1	3
東北	3	4	-1	15	4	11	3	4	-1
関東	57	80	-23	75	103	-28	75	84	-9
中部	28	20	8	37	19	18	48	29	19
関西	104	92	12	83	69	14	82	97	-15
中国	20	36	-16	36	38	-2	49	40	9
四国	590	553	37	640	449	191	582	566	16
九州	27	9	18	32	24	8	53	43	10

移動数が多いのは、四国地域であり、ほとんどが高知県内市町村間での移動である。次いで多いのが、関西、関東地域である。直近の令和5年では、関東及び関西地域は転出超過となっており、県外流出が進んでいるといえる。H30は、直近では最大の転入超過であり、そのほとんどが四国地域からの流入であることが分かる。

四国	H25			H30			R5		
	転入	転出	超過数	転入	転出	超過数	転入	転出	超過数
徳島	17	16	1	11	13	-2	6	32	-26
香川	21	36	-15	49	26	23	23	18	5
愛媛	26	34	-8	48	6	42	33	30	3
高知県	526	467	59	532	404	128	520	486	34
高知市	266	200	66	274	205	69	230	216	14
安芸市	17	5	12	16	11	5	18	15	3
南国市	114	101	13	93	86	7	96	90	6
香南市	52	62	-10	61	50	11	56	99	-43
その他	77	99	-22	88	52	36	120	66	54

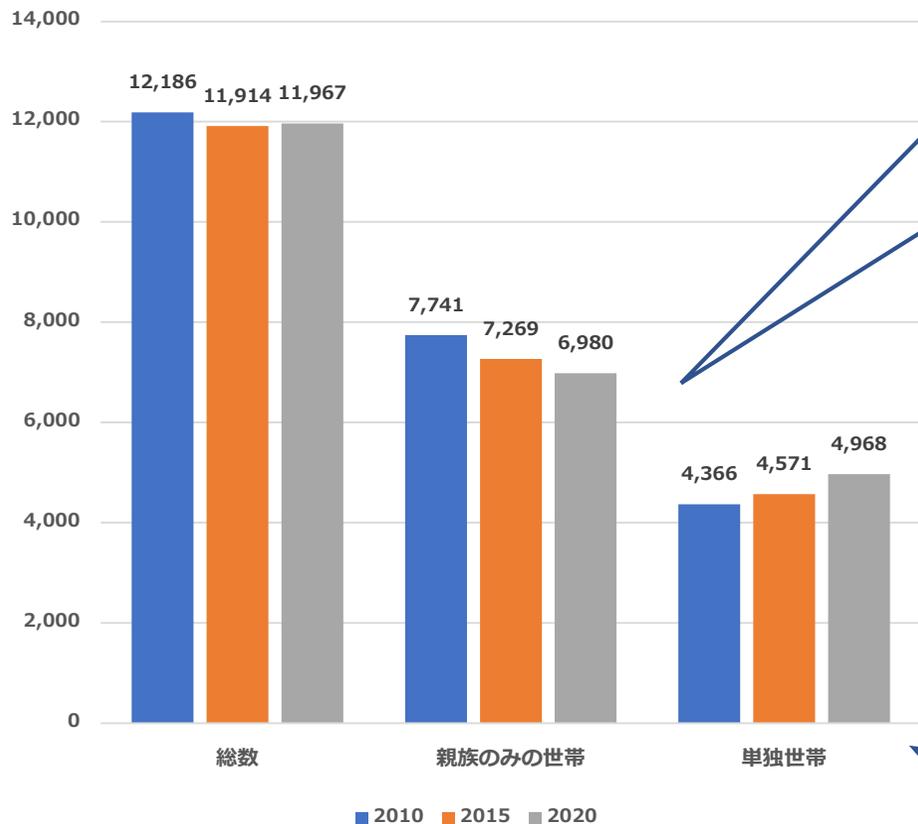
四国地域においては、高知県内の移動がほとんどあり、近隣の高知市、南国市、香南市間での移動が多くを占めている。H30は、直近では最大の転入超過であり、そのほとんどが高知県内間での移動であるが近隣県である香川、愛媛県からの流入も多いことが分かる。

(出典) 住民基本台帳に基づく都道府県及び市区町村別詳細分析表

## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

### ○香美市の世帯数

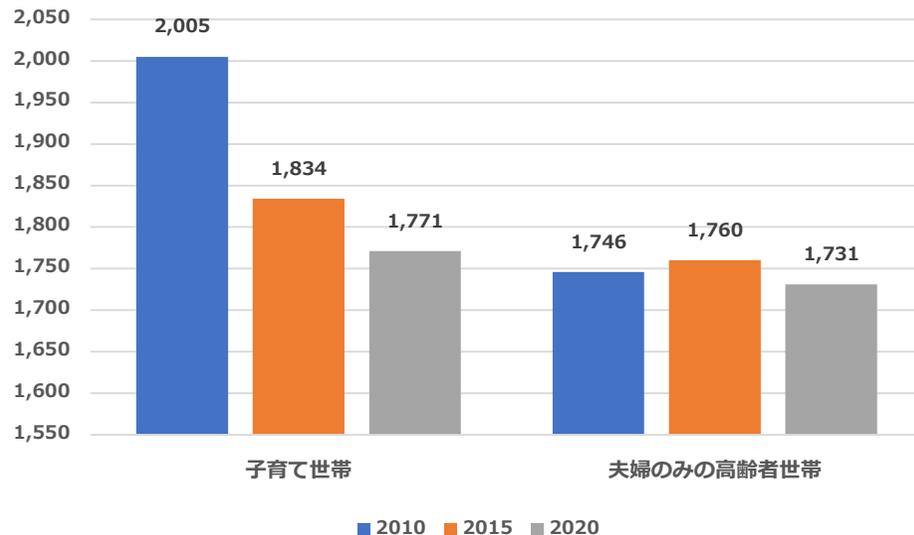
香美市の世帯数推移 (2010-2020)



(出典) 国勢調査

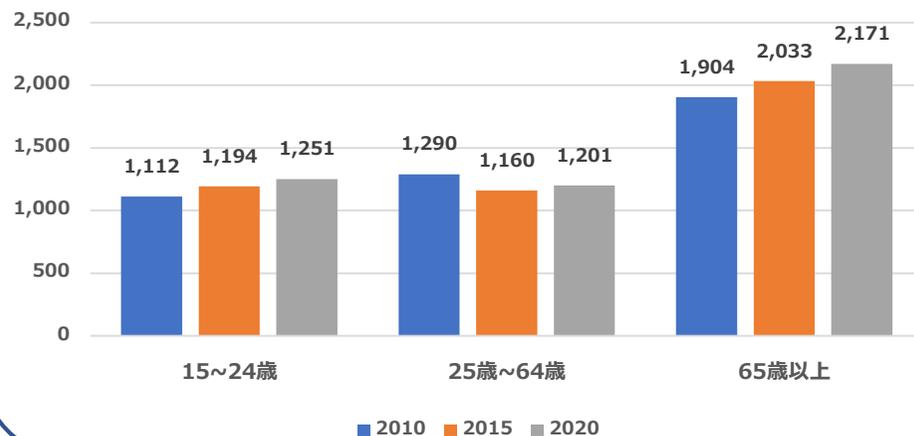
世帯総数は、10年間で変動は少ないが、世帯種類別にみると、核家族世帯は減少傾向にあり、そのうち子育て世帯は減少傾向にある。一方、単独世帯については増加傾向にあり、年齢別にみると15~24歳の単独世帯が増加していることから、高知工科大学生の増加が影響していると考えられる。また、高齢の単独世帯も増加傾向にある。

親族のみの世帯のうち構成別 (抽出)



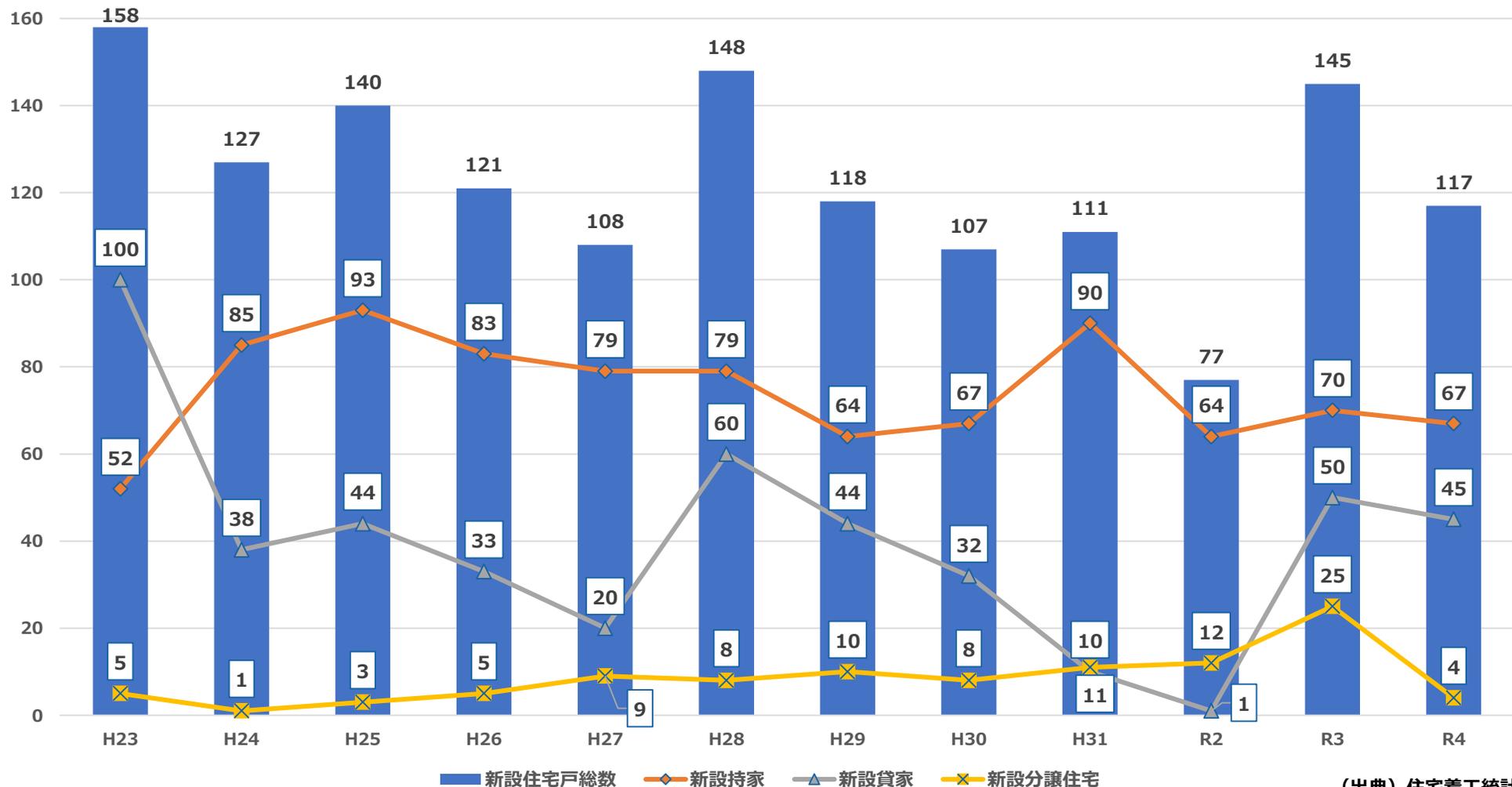
※1 18歳未満の子どもがいる世帯数  
 ※2 65歳以上の世帯主がいる夫婦のみの世帯数

単独世帯年齢別



## 2 香美市の人口動態 (社会動態)

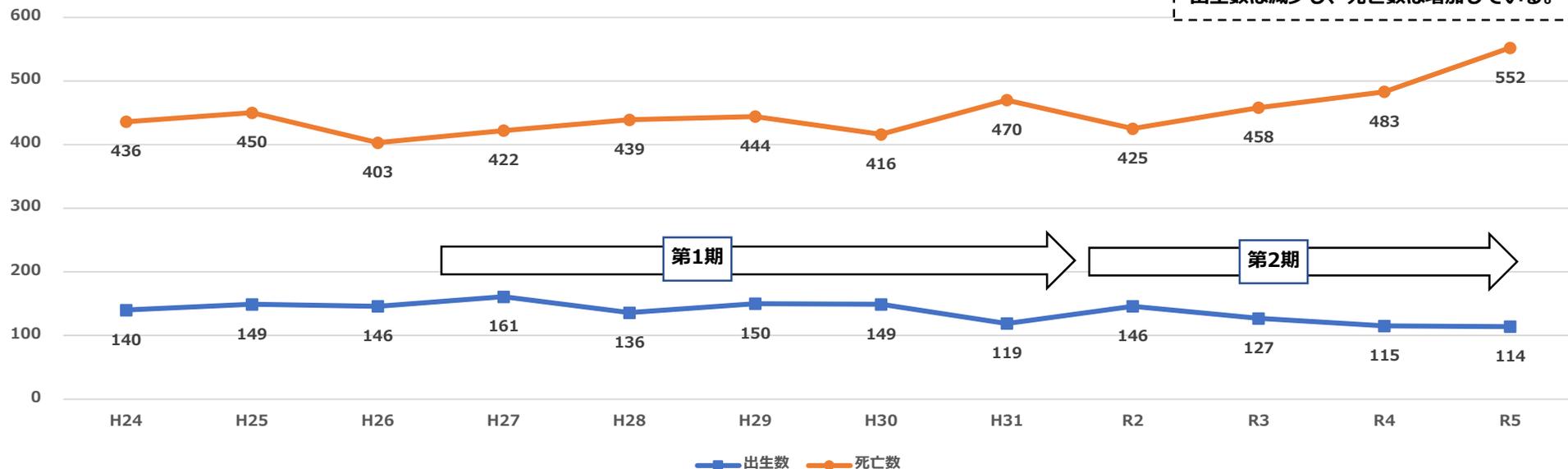
### ○住宅建設の推移について



香美市の住宅建設については、増減を繰り返しながらも一定水準を保っている。R2は物価高騰の影響により住宅需要が落ち込んでいることから、社会状況に左右されやすいことが分かる。新設持家については毎年一定数建設されていることから、今後も一定の建設が見込まれる。また、新設貸家についても年度によって増減はあるものの需要が高いと見込まれて建設がされているのではないかと考える。

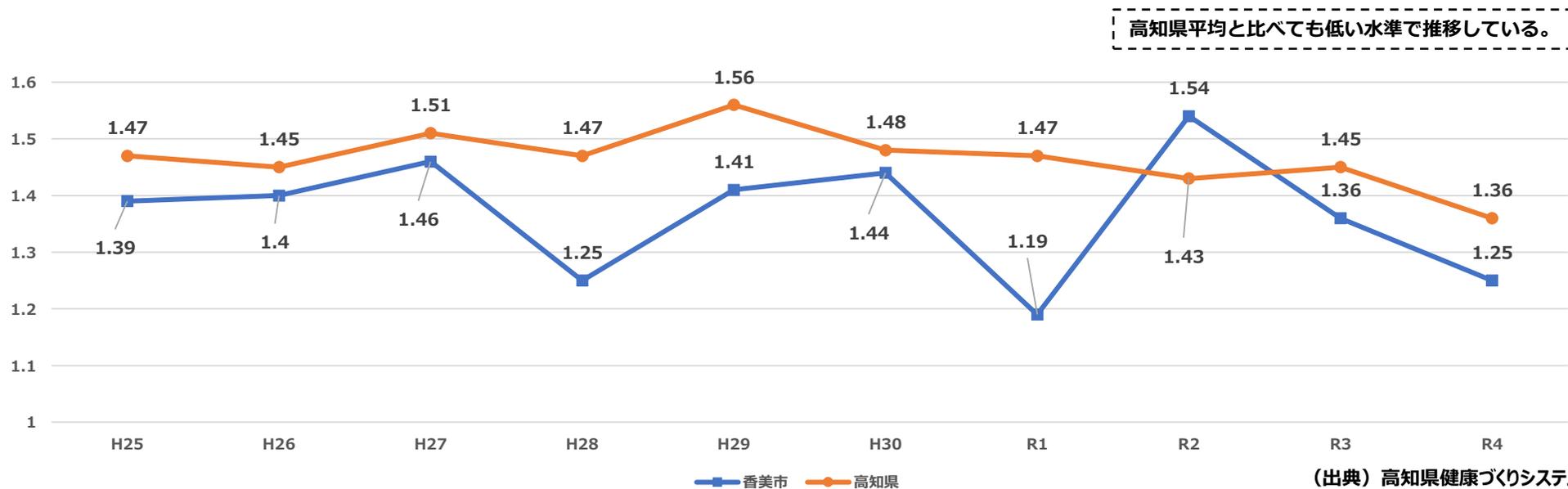
### 3 香美市の人口動態（自然動態）

○出生数、死亡数の推移



(出典) 人口動態調査

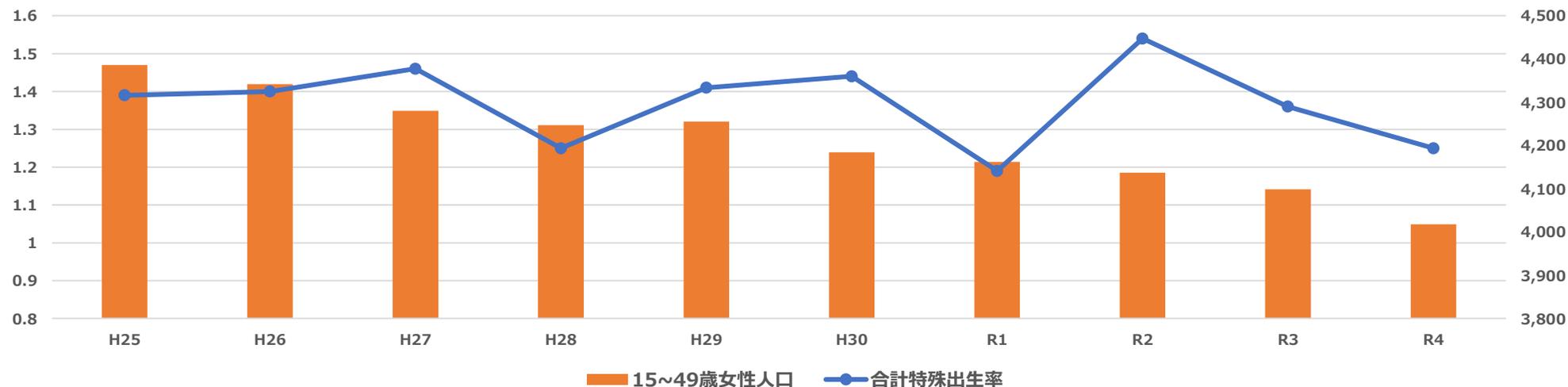
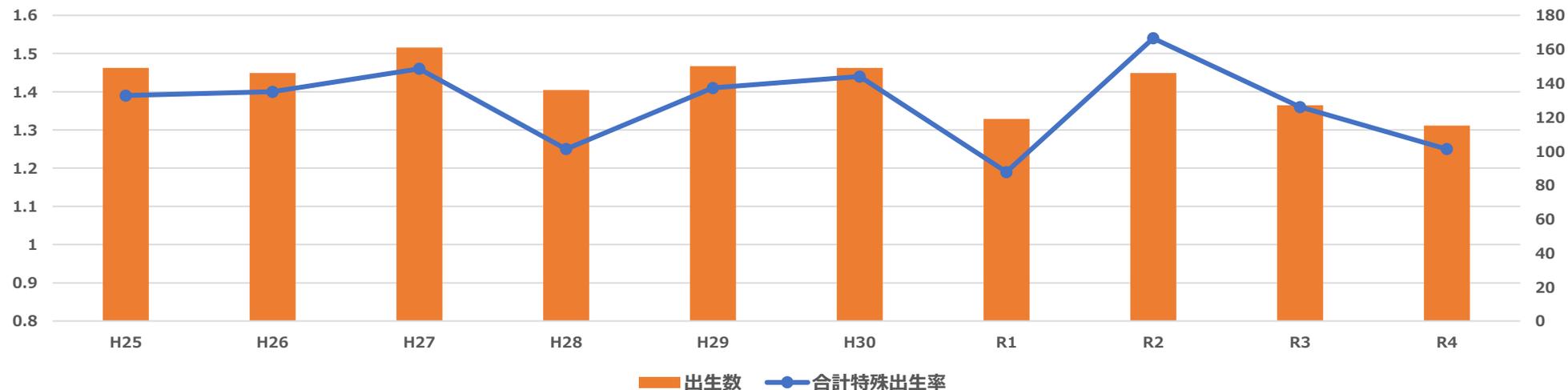
○合計特殊出生率の推移



(出典) 高知県健康づくりシステム

### 3 香美市の人口動態 (自然動態)

○合計特殊出生率について



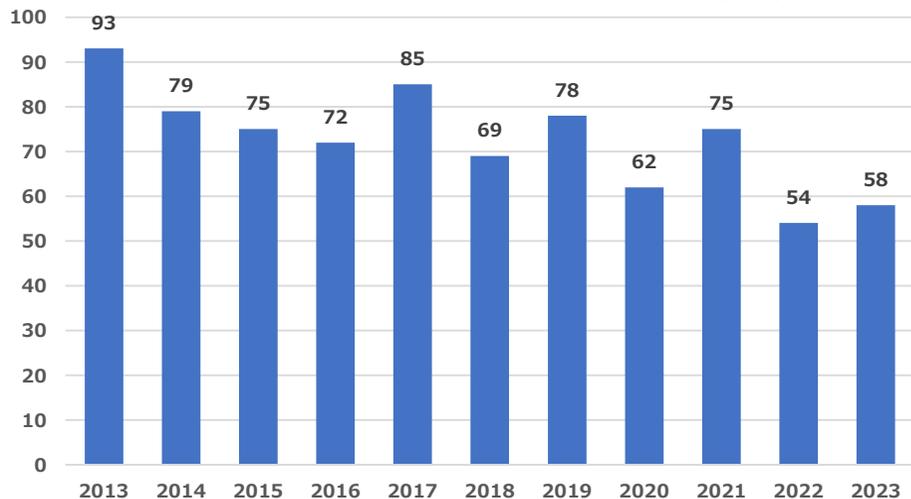
合計特殊出生率とは「15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子供を生むとしたときの子供の数に相当し、人口動態の出生の傾向をみる際の主要な指標となっている。

本市の動向をみると、出生数に応じて合計特殊出生率が推移していることが伺える。また、15~49歳女性人口については、年々減少傾向にあるが、合計特殊出生率は増減していることから、人口規模の少ない本市においては、出生数の増減が合計特殊出生率に直接影響していることが伺える。

### 3 香美市の人口動態 (自然動態)

○婚姻件数

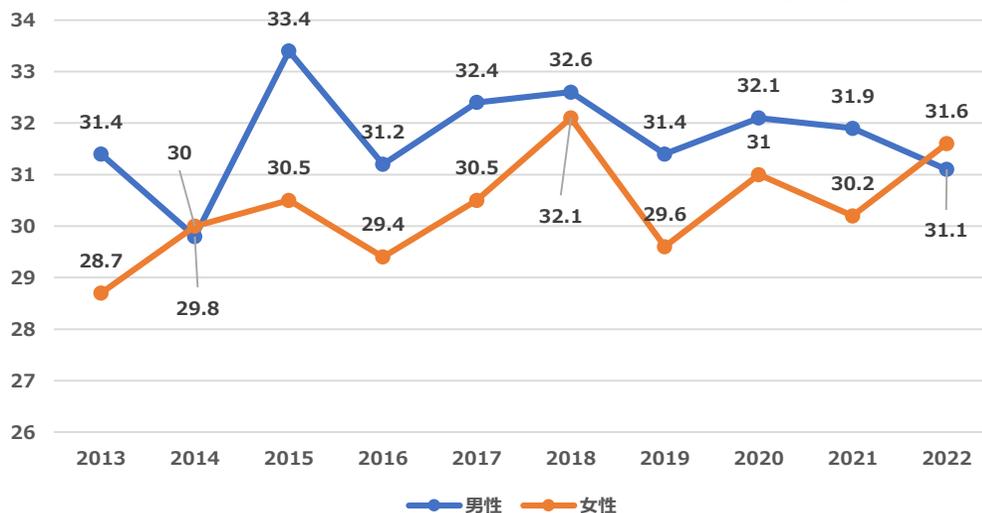
(出典) 人口動態調査



婚姻件数は増減を繰り返しながらも減少傾向にある。

○平均初婚年齢

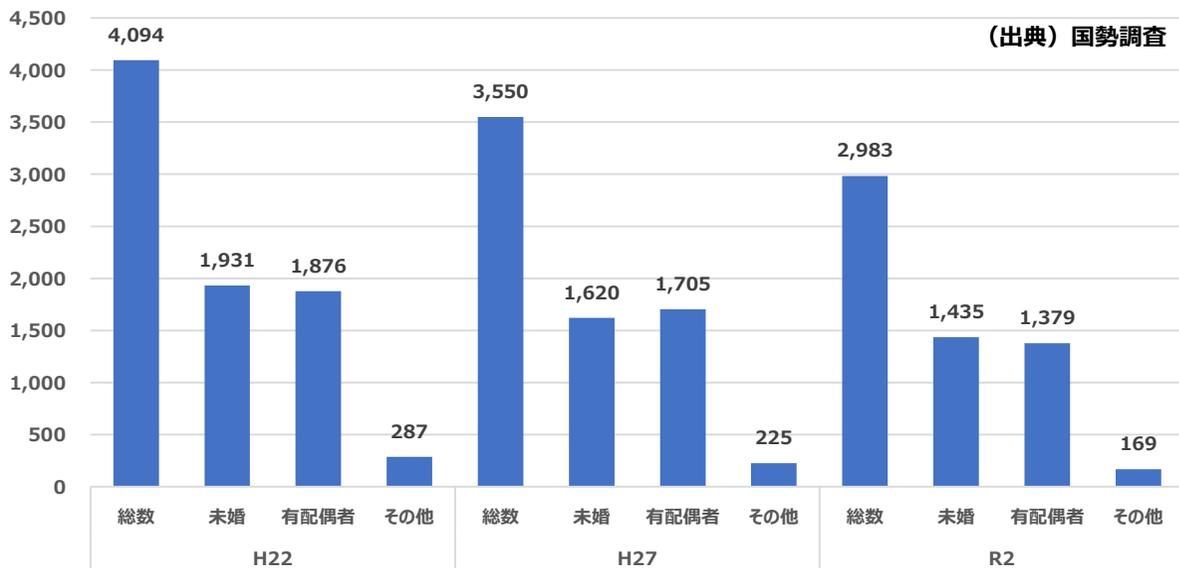
(出典) 国勢調査



平均初婚年齢は増減を繰り返しながらほぼ同水準で推移している。  
性別で見ると女性については平均初婚年齢が増えている。

○25~39歳の配偶関係

(出典) 国勢調査

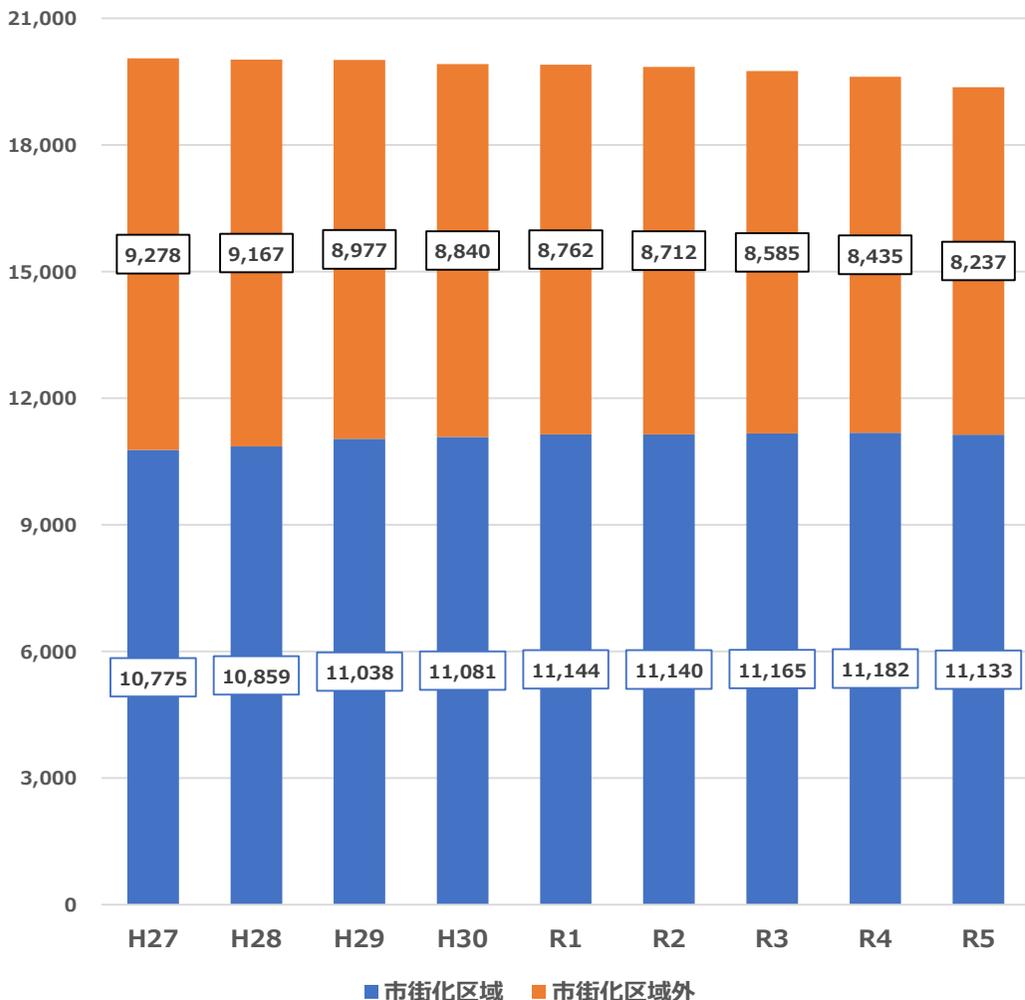


他の年代と比較して、配偶関係の変化が大きい、25~39歳の年代別で見ると、未婚と有配偶者の割合に大きく変化はない。  
性別での未婚率をみても、  
H22 男性 55% 女性 40%  
H27 男性 53% 女性 39%  
R2 男性 55% 女性 41%  
であり、大きな変化はない。  
しかし、R2の全国平均が、男性50.7%、女性39.5%であることから、香美市の未婚者の割合は高い。

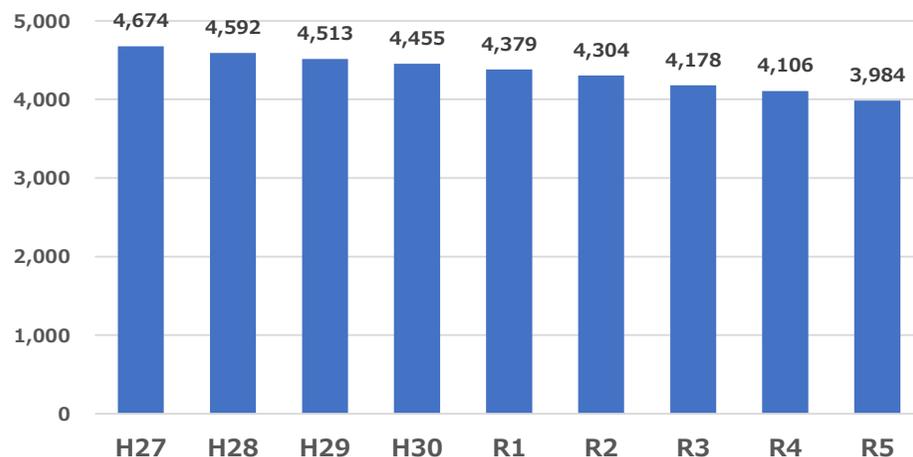
# 4 香美市の人口動態 (3町別)

## 〇3町別人口推移

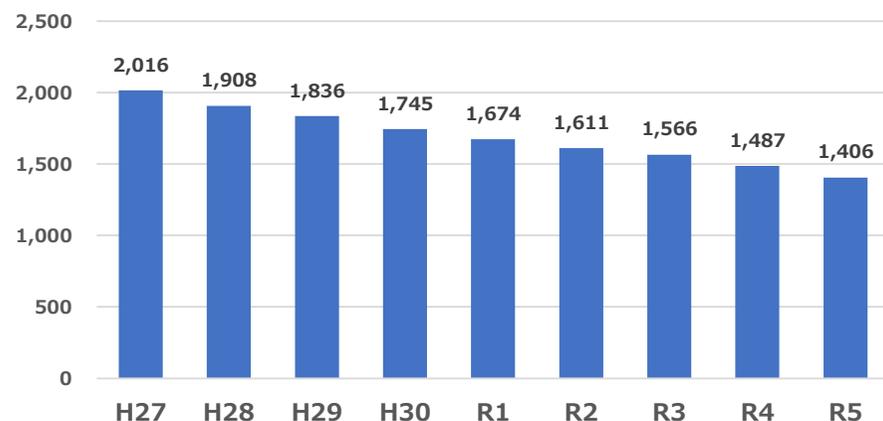
### 土佐山田町



### 香北町



### 物部町



(出典) 住基人口

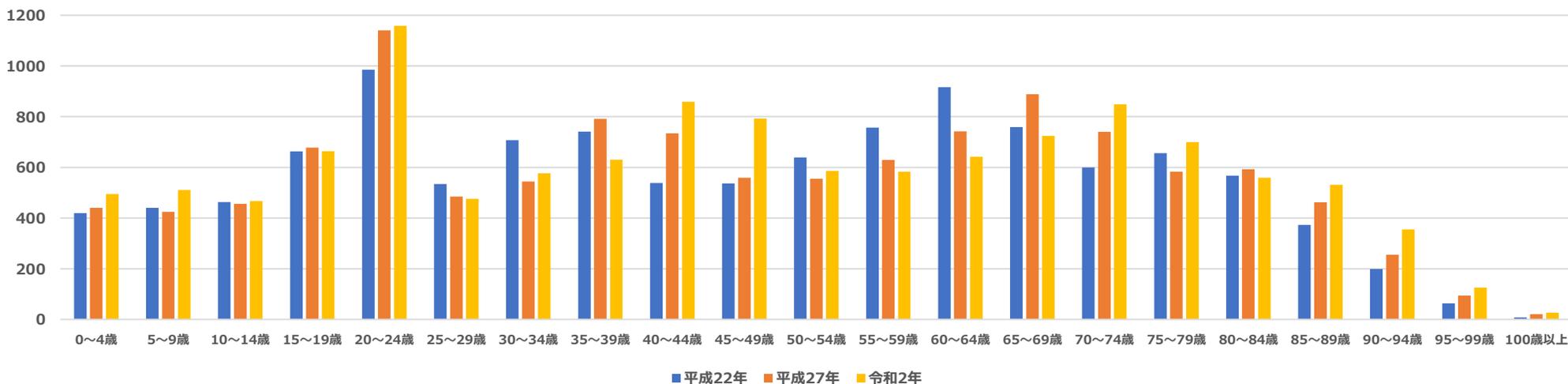
3町別にみると、どの地域も人口は減少しているが、土佐山田町内の市街化区域人口は増加している。  
また、減少率は、土佐山田町△3.5%、香北町△14.8%、物部町△30.3%であり、物部町の減少率が高い。

# 4 香美市の人口動態 (3町別)

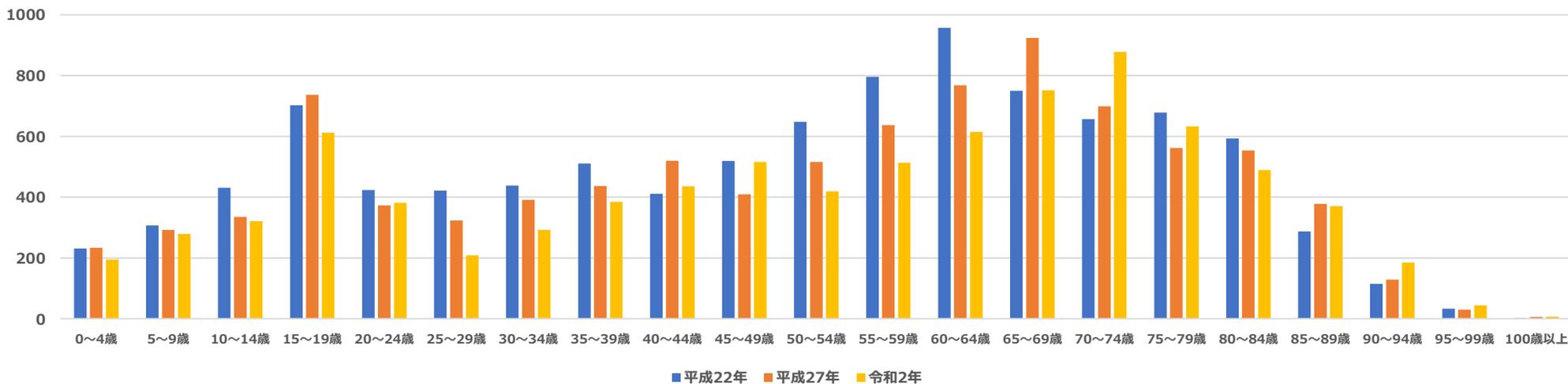
○3町別 年齢別 人口推移

(出典) 国勢調査

### 土佐山田町 (市街化区域)



### 土佐山田町 (市街化区域外)



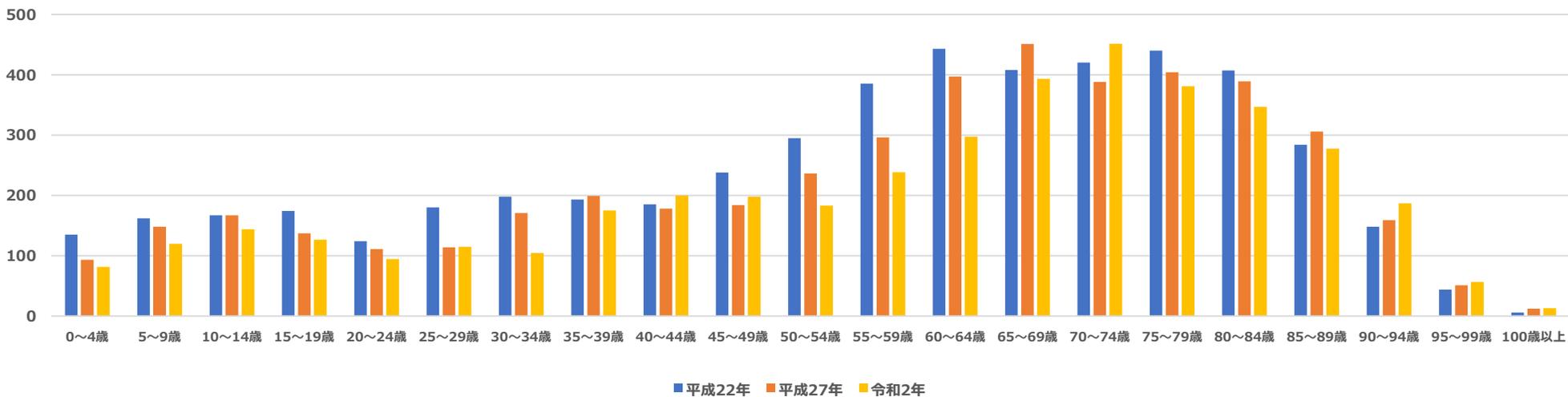
市街化区域は人口が増加しており、年齢別にみても、幅広い世代がいることが分かる。特に30~40代が前年比較すると増えていることから子育て世帯が増えていると考えられる。市街化区域外については減少傾向である。

# 4 香美市の人口動態 (3町別)

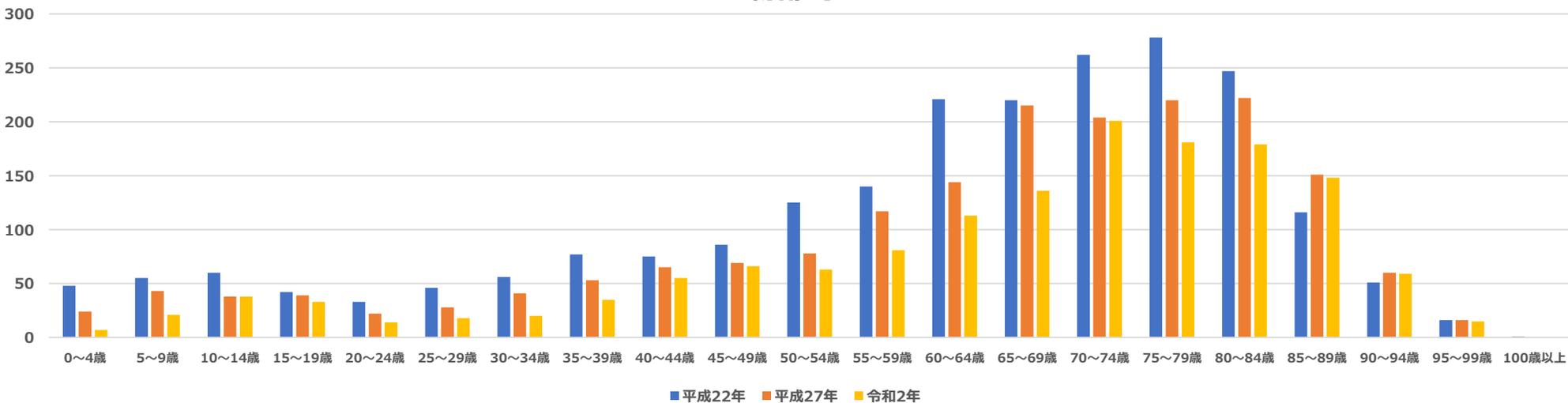
○3町別 年齢別 人口推移

(出典) 国勢調査

## 香北町



## 物部町



香北町、物部町については50歳以上が年齢構成の半数以上を占めており、少子高齢化が進んでいる。  
年齢別にみても、同水準または減少傾向になっている。

# 人口推計について

# 1 香美市の人口推計

## ☆香美市人口ビジョンについて

本市においては平成27年に人口ビジョンを策定しており、平成25年に社人研において推計された条件に加えて独自推計を行っております。策定から10年が経過したことから、人口ビジョンの推計値と平成27年、令和2年の国勢調査の実数を比較し、推計の見直しを行います。

### 人口ビジョンの設定について

【合計特殊出生率】 = 2040年に2.07と想定

【生残率】 = 社人研の仮定値による

【純社会移動数】 = 移住定住促進で2020年まで社会移動なし、それ以降は社会増と仮定

香美市移住定住促進計画アクションプランに掲げた目標、「転入が転出を上回る」、「市外からの移住者受入を年間20組以上とする」を着実に進め、2020年までは転入と転出（社会増減）が均衡して社会移動なしと仮定、それ以降は年間30人ずつが増加すると仮定してシミュレーションを行いました。増加する年齢層は近年の移住者実績をもとに仮定しました。

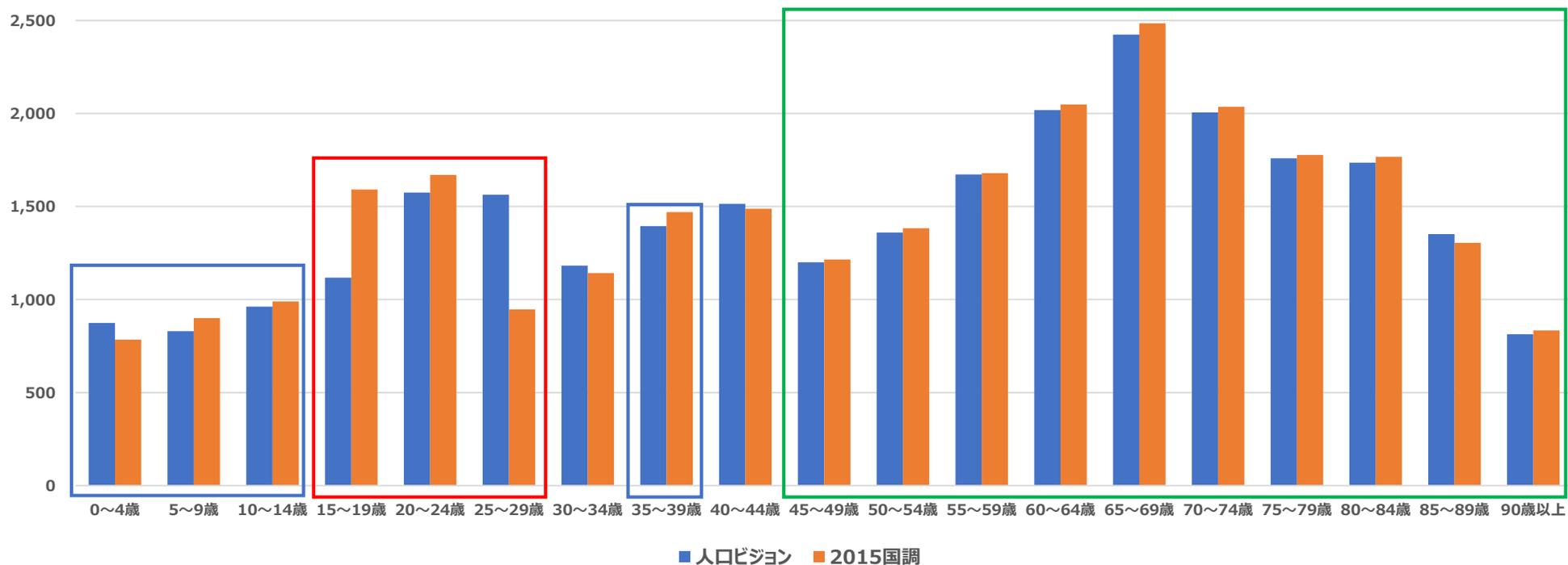
### ○人口ビジョンと国勢調査実数との比較

パターン	2015年	2020年
香美市人口ビジョン	27,354人	25,901人
社人研推計（平成25年）	27,310人	25,710人
国勢調査人口	27,513人	26,513人
差分（国調人口－人口ビジョン）	159人	612人

2015年、2020年ともに、国調人口が人口ビジョンを上回っており、人口ビジョンの短期目標人口25,900人、転入超過の目標を達成している。しかし、合計特殊出生率については、2040年に2.07を目標に推移し、2020年には1.59となる目標でしたが、2020年は1.54であり、近年の合計特殊出生率は減少傾向にあることから、年齢別等の分析が必要である。

## 2 香美市の人口推計（年齢別）

○2015年 年齢別比較

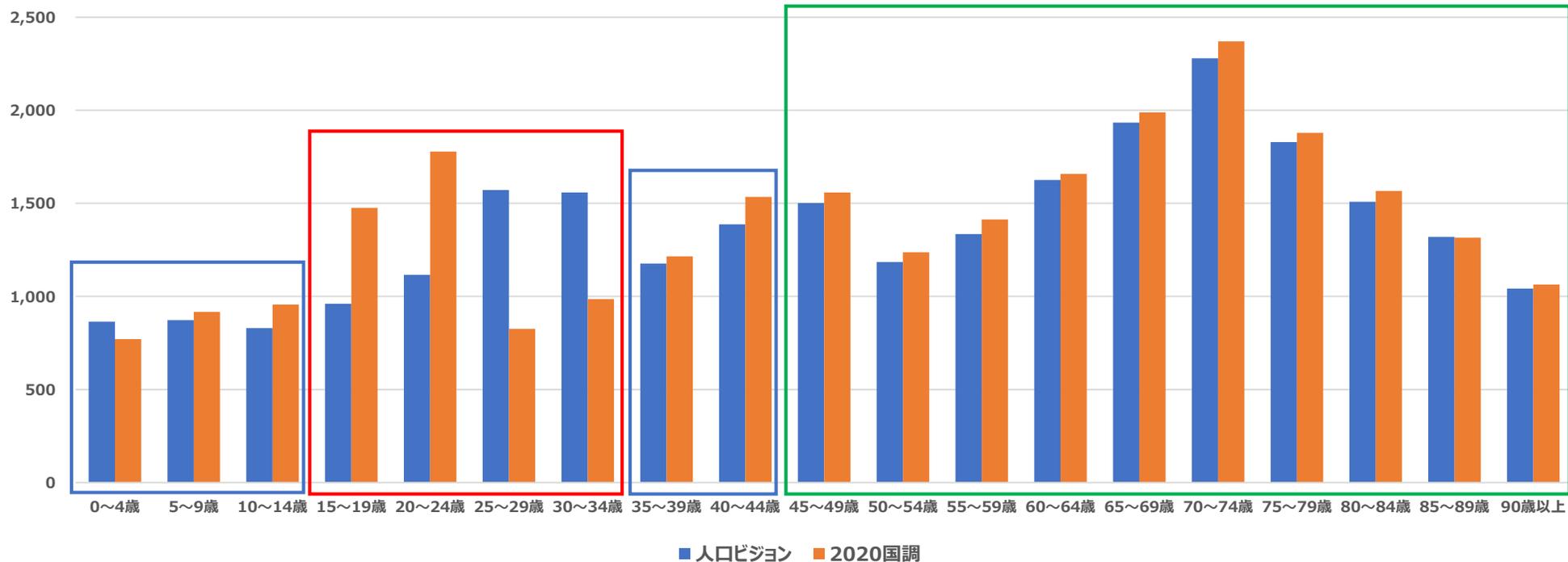


年齢	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	総数
人口ビジョン	874	830	962	1,118	1,575	1,563	1,182	1,394	1,514	1,200	1,360	1,673	2,018	2,424	2,006	1,760	1,736	1,352	813	27,354
2015国調	784	900	989	1,592	1,670	947	1,142	1,470	1,488	1,215	1,383	1,679	2,049	2,485	2,036	1,777	1,768	1,305	834	27,513
国調調査-人口ビジョン	-90	70	27	474	95	-616	-40	76	-26	15	23	6	31	61	30	17	32	-47	21	159

0~4歳人口が人口ビジョンより少ないのは、合計特殊出生率が目標数値に達していないことから伺える。一方、5~14歳の人口が人口ビジョンより多いのは、35~39歳の人口が人口ビジョンより多いことから、子育て世帯が推計よりも多いと推測される。  
 15~29歳の人口については、人口ビジョンの数値と大きく乖離しており、高知工科大学生の移動が正しく推計されていないと考えられる。  
 45~90歳以上については人口ビジョンよりも多くなっており、平均寿命の増加や転入超過等が考えられる。

## 2 香美市の人口推計（年齢別）

○2020年 年齢別比較



年齢	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	総数
人口ビジョン	864	873	830	961	1,116	1,572	1,559	1,177	1,387	1,502	1,185	1,335	1,626	1,935	2,279	1,830	1,509	1,320	1,042	25,901
2020国調	770	916	956	1,476	1,779	826	986	1,215	1,535	1,558	1,238	1,414	1,659	1,989	2,371	1,879	1,566	1,316	1,064	26,513
国調調査-人口ビジョン	-94	43	126	515	663	-746	-573	38	148	56	53	79	33	54	92	49	57	-4	22	612

0~4歳人口が人口ビジョンより少ないのは、合計特殊出生率が目標数値に達していないことから伺える。一方、5~14歳の人口が人口ビジョンより多いのは、35~44歳の人口が人口がビジョンより多いことから、子育て世帯が推計よりも多いと推測される。

15~34歳の人口については、人口ビジョンの数値と大きく乖離しており、高知工科大学生の移動が正しく推計されていないと考えられる。

45~90歳以上については人口ビジョンよりも多くなっており、平均寿命の増加や転入超過等が考えられる。

### 3 香美市の人口推計（まとめ）

#### ○年齢推計比較のまとめ

##### ・0～5歳人口について

合計特殊出生率の目標未達（直接的な要因は出生数の低下）が原因による、推計値より少ない

##### ・15～34歳人口について

転出超過により推計人口を下回る

##### ・5歳～15歳、35歳以上人口について

転入超過、生残率の上昇による寿命の増加等の理由により、推計値より多い

#### ○人口ビジョンの設定との比較

【合計特殊出生率】 = 2040年に2.07と想定

→2020年の目標が1.59に対し、実数が1.54であり、また、近年減少傾向であることから推計に差が生じている。

【生残率】 = 社人研の仮定値による

→社人研の最新数値による生残率と比較すると、微増傾向にある。

【純社会移動数】 = 移住定住促進で2020年まで社会移動なし、それ以降は社会増と仮定

香美市移住定住促進計画アクションプランに掲げた目標、「転入が転出を上回る」、「市外からの移住者受入を年間20組以上とする」を着実に進め、2020年までは転入と転出（社会増減）が均衡して社会移動なしと仮定、それ以降は年間30人ずつが増加すると仮定してシミュレーションを行いました。増加する年齢層は近年の移住者実績をもとに仮定しました。

→2015年から2020年の間は転入超過、2020年以降平均30人以上の転入超過を実現している。

しかし、年齢別にみると15～34歳人口については、減少傾向にあることから、今後の出生数等への影響を考慮する必要があると考える。